

謹賀新年

新春のお慶びを申し上げます。
本年も（公財）宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団を
よろしく願いいたします。

Vol.163
令和5年度1月号

伊豆沼・内沼自然体験講座開催

マガンとコクガンを観察する体験講座(3回目)が12月17日(日)に実施されました。今回は、悪天候のため、風雨を避けて、当サンクチュアリセンター前からの観察となりました。いつもと違う所ですが、ここでもすばらしいマガンの飛立ちが見られました。観察後は、地元食材を使った暖かい朝食に舌鼓。一息ついた後は、南三陸町に移動し、「海のビジターセンター」でコクガンを観察。最後に震災復興公園、311メモリアル、さんさん商店街を巡りました。今年度の体験講座は、1月14日(4回目)が最後の開催となります。



風雨を避けての飛立ち観察会



地元食材の温かい朝食です



コクガン見えてますかー？

トヨタ自動車東日本(株)様によるCSR活動



作業前のマコモの状態

今年度で3回目となるトヨタ自動車東日本(株)様による伊豆沼でのCSR活動が12月2日に行われました。今回は12名が参加して、水生植物を移植しました。

マコモをスコップで掘り、植えたい場所に移す作業ですが、マコモは根が深く掘り取るのも一苦労、休みを何度も取りながらの作業となりました。

来春、移植したマコモが芽吹くのが楽しみです。



ぬかるみの中でのマコモ取り作業です。



お疲れ様でした。

大学との連携事業

酪農学園大学の小川健太研究室では、ドローンを活用したマガンカウントの研究に取り組んでおり、11月28日～12月1日に内沼で調査を行いました。ドローンでマガンのねぐらを撮影し、AIによる処理を行い、自動的に個体数を求める仕組みです。その精度を高めるため、さまざまな方法、条件でドローンを飛ばし、私たちの目視カウントと比較します。ドローンを飛ばせばマガンの数が見えるようになる日も近いかもしれません。



飛行前のドローンの調整

12月19日、当財団藤本主任研究員が母校の北里大学海洋生命科学部で特別講義を行いました。これまで取り組んできた、ゼニタナゴの保全活動やオオクチバス駆除活動についての内容です。



講義を聞く学生達

環境分野に興味を持っている学生も多く、講義後にはたくさんの質問も頂きました。このような機会を下さった母校に感謝するとともに、先輩として良い成果を見せられるよう、保全活動に取り組みたいと改めて思いました。

令和5年度東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ (EAAFP) 渡り性水鳥フライウェイ全国大会開催



EAAFP事務局ジェニファーさんの講演

ガンカモ類などの渡り鳥が移動する経路をフライウェイと呼び、日本は東アジア・オーストラリア地域フライウェイに含まれています。地域連携パートナーとして登録されている湿地の関係者が集まる全国大会が、栗原市若柳で12月8～9日に開催されました。オンサイトで30名、オンラインで40名、計70名ほどの参加がありました。

8日はEAAFP事務局のジェニファー・ジョージさんの講演のあと、各サイトからの報告がありました。伊豆沼・内沼からは県自然保護課による伊豆沼・内沼自然再生事業の紹介、嶋田研究室長から国内におけるマガンの個体数の経年動向に関する発表がありました。9日は伊豆沼でのマガンの飛び立ち観察のあと、蕪栗沼を視察しました。

「第29回伊豆沼・内沼絵画展」を開催しています

当センター1階ホールにて「第29回伊豆沼・内沼絵画展」が開催されています。絵画展には、伊豆沼・内沼の美しさが巧みに表現された作品29点が展覧されていますので、どうぞご来館ください。

【期間】 令和5年12月19日（火）～令和6年1月20日（土）

午前9時～午後4時30分（最終日は12時00分まで）

【会場】 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター1階ホール

右の絵は、成瀬惇さん（栗原市築館）の作品「小春日和」です。

